

県内経済の動き

概況

〔2023年6月～2023年8月の動き〕

緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（6月）は16カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（7月 細島港）は3カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（7月 全店ベース）は22カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（8月）は12カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（7月）は4カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（8月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（7月）は前月比横ばいの1.42倍で、8月の企業倒産は前月比3件増の6件、負債額は同3億36百万円増の5億23百万円となった。

コロナ禍で落ち込んだ外出需要の回復もあり県内経済は緩やかに回復している。物価高が継続するなか、企業における価格転嫁や生産性向上の動向が注目される。